

神戸大学社会科学系教育研究府

設立一周年記念セミナー

日本の災害対応の課題 —制度・組織・リーダーシップ—

紅谷昇平 神戸大学社会科学系教育研究府 特命准教授(国際協力研究科)
前公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構
人と防災未来センター研究主幹

日時 2013年5月23日(木) 13:30~14:30

場所 国際協力研究科棟 1階大会議室

主催 神戸大学社会科学系教育研究府

(Kobe University Interfaculty Initiative in the Social Sciences)

定員 30名

参加費用 無料

参加方法 事前申込制(先着順) 参加を希望される方は、電話、FAX、電子メールにて下記宛に事前に申し込んでください。

参加申し込み・問合せ先：神戸大学経営学研究科 総務係

電話 078(803)7256 FAX 078(803)6969

E-mail : bsomu@b.kobe-u.ac.jp

概要

1995年の阪神・淡路大震災後、複数の震災や水害の教訓をもとに、日本の防災体制は修正を重ねられてきました。2011年の東日本大震災においては、相互応援の仕組みなど過去の教訓が活かされた分野がある一方、職員や庁舎の被災、通信手段・災害対応要員の不足、不十分な情報共有など、多くの自治体が災害対応に大きな課題を抱えることになりました。

これらは「想定外の津波」が原因の一つではありますが、過去の災害でも、同じような失敗が数多く報告されています。見落としている過去の教訓は何なのか、なぜ災害対応に失敗し続けるのか、もう一度振り返り考える必要があります。

今回のセミナーでは、過去の災害対応事例の調査結果を基に、自治体の災害対応に潜む課題と求められる対策について、災害対策法制、自治体における災害対策本部や業務継続体制、トップ・幹部のリーダーシップなどの観点から報告を行います。そして、防災分野における専門人材育成の必要性と、そのために求められる大学の役割について考えていきます。